

令和6年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生市立福生第一小学校 第6学年2組

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	8 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	91.7%	92.6%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	87.5%	75.6%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	100.0%	92.2%
	目標の達成	18 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	66.7%	70.2%
		26 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	87.5%	91.2%
	他者との協働	107 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	79.2%	76.8%
	学力と関係が深い質問	42 授業を集中して受けている。	83.3%	84.6%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	87.5%	75.6%
83 国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。		62.5%	73.8%	
領域名	学力調査の分析 ○成果 ▲課題			
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を14.5ポイント下回り、(同じ組み立ての熟語を選ぶ(電力))設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を9.6ポイント下回り、(中川さんの発表の工夫を選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を21.1ポイント下回り、(人物像についての会話の空欄に入る言葉を書く)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を17.3ポイント下回り、(文章についての説明として正しいものを選ぶ)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を23.4ポイント下回り、(1/6+7/8を計算する)設問に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を11.9ポイント下回り、(直方体を組み合わせた立体の体積を求める)設問に課題がある。		
	変化と関係	▲全国平均正答率を16.0ポイント下回り、(円柱の展開図で側面の横の長さを選ぶ)設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を18.1ポイント下回り、(みかんの産出額がなしの何倍かを求める)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>・国語の物語の学習では、登場人物の気持ちを考えたり、自分の意見を伝えたりと意欲的に学習に取り組む児童が多い。しかし、「書くこと」の領域の平均正答率は低く、定着は十分ではない。また、意識調査から「はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり、文章を書き直したりすることをしている」児童は少ない。</p> <p>・算数では、分からない問題に対して粘り強く取り組む姿が徐々に見られるようになってきた。課題となっている「数と計算」の領域も、計算方法の手順を理解し、練習を繰り返すと単元テストで良い点を取る児童が増えた。一方、「図形」の領域は苦手意識の強い児童が多い。面積や体積を求める公式が定着していない児童が多く、立式できないことが課題である。</p>		<p>・国語の物語の学習では、意欲的に取り組んでいる姿勢を認めつつ、叙述を基に考えを形成できるように指導していく。また、文章を書く学習では、手本となる文章を準備し、苦手の児童は手本を参考にしながら、書くことができるようにする。その際、既習した漢字は活用するように促す。</p> <p>・算数では、「図形」の領域の授業を行う際には、各単元に必要な知識を復習してから取り組み、新しい学習に活かすことができるようにしていく。また、自分の考えのよさを実感できるよう、ペアやグループでの活動を取り入れていく。ペアやグループでの活動を通して、お互いの意見を認め合ったり、教師が児童の学びを認めて価値付けたりしていくようにする。</p>		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和6年8月末時点で完了している児童	100%	(22人/22人中)
確認テストの実施状況		令和6年8月末時点で完了している児童	100%	(22人/22人中)